

## 語学留学 マンスリー・レポート

留学先	国または地域	オーストラリア	学校名	ホーソンメルボルン
留学期間	2022	年 8	月 ~	2023 年 2 月

### 1. 今月のカルチャーショック（トラブル・戸惑い・驚き・発見など）

☞ どのようなトラブル・戸惑いでしたか？何に驚きましたか？どんな発見でしたか？  
自分なりに分析してください。

オーストラリアに来て一番驚いたことは、お店やショッピングセンターでの標識には英語と中国語で書かれていることです。オーストラリアが多民族国家ということは知っていましたが、街を歩いても中国系の方を見かける機会が多かったです。インターネットで検索してもあまり出てこなかったので、語学学校にいる現地の大学生に聞いてみました。すると、ほとんどは移民であるということ。また天安門事件によって、元オーストラリアの首相がオーストラリアでの移民を受け入れ、英語などを教えたことです。また、話しを聞いた学生は中国系オーストラリア人で父親がそうであったということでした。日本では、単一民族国家であるのであるのでオーストラリアとの違いであるなど感じました。

### 2. 今月の成長体験

☞ ①以外で、自分を成長させた体験について書いてください。

初めての登校日、クラスに入ると日本人は私以外いませんでした。なので、強制的に英語を使わないとコミュニケーションがとれない環境になりました。ディスカッションでは、質問された意味は分かるのにとっさに英語が出てこず積極的に喋れませんでした。また、クラスメイトは流暢に英語を話していました。これらの点から、自信を無くしてしまいました。更に、クラスメイトの独特な英語の訛りが理解できず、悔しさと自分のレベルの低さに授業後に泣いてしまいました。先生に相談すると、まだ初日なのだから大丈夫だ、自信を持つことが大切。間違ってもいいから、発言しなさいといわれました。それから、分からない時は隣に座っているクラスメイトに質問をする、1日の授業で4～5回は最低でも発言しようという目標をたてました。まだ、授業で悔しい思いをする機会が多いですが、リスニング力は初日より上がったような気がしています。

### 3. 日本について聞かれたこと、考えたこと

☞ どのようなことを聞かれ、そこから何を考えましたか？日本について考えたことでも構いません。

クラスメイトやホストマザーに日本のLGBTQに関して、寛容であるかどうかの質問をされました。私は、日本の大学などの授業でこのテーマについて扱うことが年々増えてきていると感じているのに加えて、高年層からはあまり理解されていないという資料を以前見たことがあり、若者層からの理解は得ているが、高年層からは理解をあまりされていないと答えました。クラスメイトはオーストラリアに5年住んでいる韓国出身の子で、オーストラリアの高校に通っていたと言っていました。そこでは、レズビアンのカップルが当たり前のようにいたと話していました。そこで、日本では私は見たことがなかったので、もしいたとしても表立って手をつないだりできない環境が日本ではできてしまっていると思いました。

